

八竜緑地の湿地の特徴は



丘陵の礫層からの湧水によって緩斜面に形成された湿地(東海地方特有の湿地)にモウセンゴケ群落が存在することです。

東海地方特有の湿地とは

次のような特徴を持つ湿地のことです。

- 赤土の露出するようなところから出る湧き水によって水分が供給される
- 湧き水は極端に貧栄養で酸性度が高い
- 礫がところどころ露出するほど土壌が薄い
- 面積が比較的小さい



花ごよみ

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|
| ハルリンドウ | | | | | | | | | |
| シデコブシ | | | | | | | | | |
| マメナシ | | | | | | | | | |
| クロミノニシゴリ | | | | | | | | | |
| モウセンゴケ | | | | | | | | | |
| トウカイコモウセンゴケ | | | | | | | | | |
| ノギラン | | | | | | | | | |
| ミカヅキグサ | | | | | | | | | |
| サギソウ | | | | | | | | | |
| ミスギボウシ | | | | | | | | | |
| ホザキノミミカキグサ | | | | | | | | | |
| ミミカキグサ | | | | | | | | | |
| シラタマホシクサ | | | | | | | | | |
| サワシロギク | | | | | | | | | |

八竜緑地全体案内図

八竜緑地では、主要な2か所の湿地に管理フェンスと木道を設置し、湿地の環境を保護しています。また、緑地の自然とふれあえるように林内には木道と散策路を整備しています。



八竜緑地の生きもの

市内では数少なくなった貴重な湿地性の動植物が生息しています。氷河期の生き残りともいわれるシデコブシをはじめ、東海地方固有の植物(東海丘陵要素)や、学術的にも重要なトウカイコモウセンゴケなどの食虫植物の群落が生息しています。また絶滅の恐れがあるカスミサンショウウオ、ヒメタイコウチなども生息しています。

植物

東海丘陵要素 シデコブシ・マメナシ・シラタマホシクサ・クロミノニシゴリ・ウンヌケ等

食虫植物群 トウカイコモウセンゴケ・モウセンゴケ・ミミカキグサ・イシモチソウ等

動物

カスミサンショウウオ・ヒメタイコウチ・ホトケドジョウ等



シラタマホシクサ



ハルリンドウ



ミミカキグサ



イシモチソウ



ミカヅキグサ



カスミサンショウウオ

DATA

- 八竜緑地 約6.4ha
- 湿地面積 0.5ha
- 池面積(新池) 0.4ha
- 樋口の森面積 2.3ha